

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	今後さらに理解、協力者を増やせるよう、例えば近くの小学校の関係者などへの出席の声掛けなども期待される。	運営推進会議に多くの地域の方々にも出席していただき、グループホーム福寿草を理解して協力していただけるように、出席の声掛けをしていく。	運営推進会議に消防団や小学校の関係者、郵便局長など地域の方で参加していただける方に声掛けをしていく。 グループホーム福寿草を理解していただき協力者になっていただけるように、意見や感想などを伺い運営に活かしていく。	6ヶ月
2	40	今後さらに豊かな食事を提供していくために、専門的な知識を持つ職員を育てることなどが期待される。	食事が高齢者向きで、入居者様の好きなもの、バランス良く栄養が摂れるものを提供していく。	秋田県社会福祉協議会などで開催されている調理研修に職員を参加させ、他の職員も知識を得られるように内部研修をする。 食事の内容を管理栄養士に見てもらい、指導していただく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。